



令和7年
ほんちょう保育園
保健室

7月の和名は「文月」。

七夕に願い事を短冊に書く、という風習が由来ではないかともいわれています。本来、短冊に書く内容は「織姫のように機織りが上手になりたい」といった、神様への願い事というよりは決意表明だったようです。今年の短冊にはどんなに小さな目標でも「自分でやるぞ！」決めたことを書いて挑戦してみませんか？

7月の目標 夏を元気に過ごす

7月の予定

《園医健診》 医師の都合にて変更になる場合があります

たんぽぽ 1日(火)・15日(火) たけのこ 1日(火) くるみ15日(火)

《身体計測》 保育上の都合により日程が変更することがあります

たんぽぽ(0歳児) 10日(木) たけのこ(1歳児) 3日(木) くるみ(2歳児) 9日(水)
まつぼっくり(3歳児) 4日(金) しいのみ(4歳児) 1日(火) くすのき(5歳児) 8日(火)

《視力検査》 くすのき組 午前中 日程が決まり次第お知らせします

《尿検査 6月に未提出および検査が出来なかった人と二次検査(再検査)の人》

7月2日(水) 9:30までに提出をお願いいたします

上記日程以外に7月8日(火)・8月7日(木)にも提出できますが、二次検査(再検査)になる場合がありますので、できるだけ7月2日(水)に提出していただけますようご協力お願いいたします。

容器は 6月25日(水)に配布しました。

《感染症情報》

【保育園では】

○アデノウイルス感染症1名の報告がありました

* 保育園玄関入って左側に園内での感染症や熱等欠席の状況を掲示しています。発熱等で受診の際には園内で出ている感染症などをかかりつけ医にお伝えください。

【多摩小平保健所管内では】

○みずぼうそうが流行しています。

* 予防接種を2回受けているお子様が多くなり、発熱するケースが少なく、水痘疹の見分けも難しくなっていますが、気になる発疹を見かけた場合は、受診をお願いする場合があります。

《熱中症防止のために》

不安定な天気が多く、朝晩の気温の変化が大きい今年の梅雨。梅雨の晴れ間に急に気温が上昇する日は暑さに体が慣れていないので熱中症になりやすくなります。さらに朝ご飯を食べずに登園することでも熱中症の危険度が増します。朝から元気がない。またお昼ご飯の時間になっても、

朝から排尿が全く見られないお子さまの報告もあります。

登園前には食事と共に水分摂取も合わせてお願いします。



保健指導について くすのき（5歳児）

「6歳臼歯と6歳臼歯の磨き方」

前歯の生え変わりはよくわかりますが、6歳臼歯は乳歯の一番後ろに生えてくるため、出てきていることに気づきにくい歯です。中には「歯が痛い」と伝えてきて、6歳臼歯が生えてきていることに気づくこともあります。

4個の奥歯の模型を見ながら6歳臼歯が生えてくる経過を見ました。自分の目で見るのが難しい6歳臼歯なので、じーっと模型を見てその6歳臼歯を磨くにはどのようにしたらよいのかグループごとに考えました。「歯ブラシを曲げる!」「歯ブラシを立てる!」様々な意見が出ていました。誰の意見も否定せず楽しく話し合っている姿が素敵でした。6歳臼歯が生えていないお子さんが多く、模型だけではイメージがつかないお子さんも多いかと思いますが、仕上げ磨きをしながら、6歳臼歯が出てきているかお子さんと話をしてみてください。

奥歯と6歳臼歯の模型



○ 少しずつ出てくる6歳臼歯

歯の模型を展示食置き場の最下段に設置しています。お子様と一緒にご覧ください。乳児クラスの保護者の皆様も是非ご覧ください

しっかりした仕上げみがきは、ご家庭で保護者の方をお願いします

子どもはプラーク(細菌の塊)を除去できるほど、手先を器用に動かすことはできず、子ども自身による歯みがきは、むしろ歯予防という観点からは十分ではありません。小学校3年生くらいまでは、保護者の方による仕上げみがきが必要です。4歳・5歳児では、前歯や6歳臼歯などの永久歯が生えてきます。一番奥の6歳臼歯は、子どもだけでは磨き残しが多い歯なので、ご家庭での仕上げみがきの際にその部分も意識して磨いてみて下さい。親子のコミュニケーション、お子様の歯の状態の確認の為に夜就寝前の歯みがき時には、保護者の方の仕上げみがきをお願いします。

「くわえたまま」絶対にダメ!



- ⚠ ベッドの上で遊んでいて (2歳)
- ⚠ 兄弟とじゃれあっていて (3歳)
- ⚠ 仕上げみがきのため移動しようとして (5歳)

…どれも、日常の光景のようですが、違っていたのは「歯ブラシをくわえたまま」だったこと。のどの奥に刺さった、頸動脈の損傷など、集中治療・長期入院が必要な大きな事故につながってしまいました。

歯を守るための習慣が思わぬ事故にならないように、お子さんが歯みがきをするときは「座らせて」「必ずそばで見守る」ようにしてください。

そして、もう一つ。おうちの方も、歯ブラシをくわえたまま移動することは絶対にやめてください。家族みんな、のどつき事故を防ぎましょう。



【虫よけについて】

虫に刺されやすい人、刺されると腫れがひどくなる人など必要な人は、朝ご家庭でお子さまにあった虫よけを使用してから登園をお願いします。その際虫よけパッチ等のシールタイプの虫よけの使用はお控えください。はがれて落ちてしまった場合、小さなお子さんは何でも口に入れてしまう危険性があります。夕方に園庭で遊ぶ場合や河原や草の多い場所に行く場合は保育園で虫よけを使用することがあります。園で使用する虫よけはイカリジン成分配合のスプレータイプの物です。肌に合わない等使用を控える必要のある方はクラス担任までお声掛けください。虫よけは虫(蚊)にまったく刺されなくするものではなく、刺されにくくするものです。虫(蚊)に刺されない保証はありません。

